

研究・調査報告書

報告書番号	担当
483	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Alcohol consumption and the risk of coronary heart disease in postmenopausal women with diabetes: Women's Health Initiative Observational Study 閉経後糖尿病女性患者における飲酒と冠動脈疾患リスク : Women's Health Initiative Observational Study	
執筆者	
Rajpathak SN, Freiberg MS, Wang C, Wylie-Rosett J, Wildman RP, Rohan TE, Robinson JG, Liu S, Wassertheil-Smoller S..	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Eur J Nutr. 2010 Jun;49(4):211-8. Epub 2009 Oct 13.	
キーワード	
アルコール、循環器、女性、糖尿病	
要 旨	
<p>背景： いくつかの観察研究は一貫して適量の飲酒と冠動脈疾患 (CHD) リスクとの負の関連を報告しているが、その関連が 2 型糖尿病を持つ集団でも存在するかは、まだ確立していない。この研究の目的は、閉経後糖尿病女性患者において飲酒の頻度や量と CHD 発症リスクとの関連を評価することである。</p> <p>方法： 著者らは、Women's Health Initiative Observational Study において、自己申告の糖尿病をもち、循環器疾患既往のない 3198 人の女性からなる前向きコホート研究を行った。飲酒については、半定量的な摂取頻度調査によって評価された。この研究のプライマリー・アウトカムは CHD であるが、それは医療記録のレビューによって確認された。コックス比例ハザード回帰モデルによって、飲酒と CHD 発症リスクとの関連について、いくつかの潜在的な交絡を調整したハザード比 (HR) を算出した。</p> <p>結果： 22,546 人年のフォローアップの間に、336 の CHD 発症があった。飲酒の頻度および量の双方が、CHD 発症リスクと負の関連を認めた。非飲酒者に比べると、1 週間当たり ≤ 0.5、$0.5-2$、≥ 2 回の頻度の飲酒による多変量調整 HR は、それぞれ 0.89 (95%信頼区間 [CI]: 0.63, 1.26)、0.84 (95%CI: 0.56, 1.25)、0.65 (95%CI: 0.43, 0.99) であった(傾向性検定 P 値: 0.04)。この関連は、摂取したアルコールの種類で、変わらなかった。</p> <p>結論： 閉経後 2 型糖尿病女性患者における適量の飲酒は、閉経後非糖尿病女性と同様に CHD に対する予防的効果をもつ可能性が示された。ただし糖尿病女性患者に飲酒を勧める時は、アルコールの心臓病以外のアウトカムに対する潜在的なリスクの考察が必要であろう。</p>	